

● B 書くこと

	(小) 第1学年及び第2学年	(小) 第3学年及び第4学年	(小) 第5学年及び第6学年
目標	(2) 経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てる。	(2) 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる。	(2) 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えた文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。
	(1) 書くことの能力を育てるため、次の事項について指導する。		
課題設定や取材	ア 経験したことや想像したことなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を集めること。	ア 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。	ア 考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。
構成	イ 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。	イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。	イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。
記述	ウ 語と語や文と文との読み方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。	ウ 書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。 エ 文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。	ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。 エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。
推敲	エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いなどに気付き、直すこと。	オ 文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。	オ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。
交流	オ 書いたものを読み合い、よいところを見付けて感想を伝え合うこと。	カ 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。	カ 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。
	(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。		
言語活動例	ア 想像したことなどを文章に書くこと。 イ 経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章などを書くこと。 ウ 身近な事柄を簡単に説明する文章などを書くこと。 エ 紹介したいことをメモにまとめたり、文章に書いたりすること。 オ 伝えたいことを簡単な手紙に書くこと。	ア 身近なこと、想像したことなどを基に、詩をついたり、物語を書いたりすること。 イ 疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したること。 ウ 収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと。 エ 目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書くこと。	ア 経験したこと、想像したことなどを基に、詩や短歌、俳句をついたり、物語や随筆などを書いたりすること。 イ 自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。 ウ 事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと。

付録5

	(中) 第1学年	(中) 第2学年	(中) 第3学年	国語総合
目標	(2) 目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えた確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。	(2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。	(2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。	
				(1) 次の事項について指導する。
課題設定や取材	ア 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。	ア 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。	ア 社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。	ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。
構成	イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。	イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。		イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。
記述	ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。	ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。	イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。	ウ 対象を的確に説明したり描写したりするとともに、適切な表現の仕方を選んで書くこと。
推敲	エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。	エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。	ウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。	エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、もの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。
交流	オ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の使い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりにすること。	オ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げること。	エ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、もの見方や考え方を深めること。	
言語活動例	ア 関心のある芸術的な作品などについて、鑑賞したことを文章に書くこと。 イ 図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと。 ウ 行事等の案内や報告をする文章を書くこと。	ア 表現の仕方を工夫して、詩歌をついたり物語などを書いたりすること。 イ 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと。 ウ 社会生活に必要な手紙を書くこと。	ア 関心のある事柄について批評する文章を書くこと。 イ 目的に応じて様々な文章などを集め、工夫して編集すること。	ア 情景や心情の描写を取り入れて、詩歌をついたり随筆などを書いたりすること。 イ 出典を明示して文章や図表などを書くこと。 ウ 相手や目的に応じた語句を用い、手紙や通知などを書くこと。

付録5

指導事項・言語活動例

● 話すこと・聞くこと、書くことに関する指導事項

	中学校(3年) A話すこと・聞くこと(1)	国語総合 A話すこと・聞くこと(1)
話題設定 取材 構成	ア 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。	ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べる。 (中3 A(1)ア)
話すこと 聞くこと	イ 場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使うこと。 ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のもの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。	イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。 (中3 A(1)イ、ウ)
話し合うこと	エ 話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。	ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。 (中3 A(1)エ)
交流 評価	(再掲)ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のもの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。	エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、もの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 (中3 A(1)ウ)
題材選定 取材 表現の工夫	B書くこと(1) ア 社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。	B書くこと(1) ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。 (中3 B(1)ア)
構成	(再掲)ア 社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。	イ 論理の構成や展開を工夫し、論理に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 (中3 B(1)イ、イ)
記述	イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。 (2年)ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。	ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 (中2 B(1)ウ)
推敲 交流 評価	ウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。 エ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、もの見方や考え方を深めること。	エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、もの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 (中3 B(1)ウ、エ)

	国語表現 内容(1)	現代文B 内容(1)
話題設定 取材 構成	ア 話題や題材に応じて情報を収集し、分析して、自分の考えをまとめたり深めたりすること。(国語総合A(1)ア、B(1)ア)	エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。(国語総合A(1)ア、イ、B(1)ア、イ、ウ)
話すこと 聞くこと	エ 目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して効果的に話したり書いたりすること。(国語総合A(1)イ、エ、B(1)ア)	
話し合うこと	イ 相手の立場や異なる考えを尊重して課題を解決するために、論議の妥当性を判断しながら話し合うこと。(国語総合A(1)ウ)	
交流 評価	オ 様々な表現についてその効果を吟味したり、書いた文章を互いに読み合って批評したりして、自分の表現や推敲に役立てるとともに、もの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。(国語総合A(1)エ、B(1)エ)	(再掲)エ 目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して効果的に話したり書いたりすること。(国語総合A(1)イ、エ、B(1)ア)
題材選定 取材 表現の工夫	(再掲)ア 話題や題材に応じて情報を収集し、分析して、自分の考えをまとめたり深めたりすること。(国語総合A(1)ア、B(1)ア)	(再掲)エ 目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して効果的に話したり書いたりすること。(国語総合A(1)イ、エ、B(1)ア)
構成	ウ 主張や感動などが効果的に伝わるように、論理の構成や描写の仕方などを工夫して書くこと。(国語総合B(1)イ、ウ)	(再掲)エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。(国語総合A(1)ア、イ、B(1)ア、イ、ウ)
記述		
推敲 交流 評価	(再掲)オ 様々な表現についてその効果を吟味したり、書いた文章を互いに読み合って批評したりして、自分の表現や推敲に役立てるとともに、もの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。(国語総合A(1)エ、B(1)エ)	(再掲)オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとりえ、自分の表現や推敲に役立てること。(国語総合A(1)エ、B(1)エ、事項(1)イ(イ))

B 書くこと

	(小) 第1学年及び第2学年	(小) 第3学年及び第4学年	(小) 第5学年及び第6学年
	(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
題材の設定	ア 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。	ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。	ア 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。
情報の収集			
内容の検討			
構成の検討	イ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考へること。	イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考へること。	イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考へること。
考えの形成	ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。	ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
記述			エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
推敲	エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。	エ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整へること。	オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整へること。
共有	オ 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。	オ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。	カ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。
	(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。		
言語活動例	ア 身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。 イ 日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。 ウ 簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。	ア 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 イ 行事の案内やお礼の文章を書くなど、伝えたいことを手紙に書く活動。 ウ 詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。	ア 事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 イ 短歌や俳句をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ウ 事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。

付録6

	(中) 第1学年	(中) 第2学年	(中) 第3学年
	(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
題材の設定	ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。	ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。	ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。
情報の収集			
内容の検討			
構成の検討	イ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考へること。	イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。	イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考へて、文章の構成を工夫すること。
考えの形成	ウ 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	ウ 根拠の適切さを考へて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考へて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	ウ 表現の仕方を考へたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。
記述			
推敲	エ 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整へること。	エ 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整へること。	エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確認して、文章全体を整へること。
共有	オ 根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。	オ 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。	オ 論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。
	(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。		
言語活動例	ア 本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 イ 行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く活動。 ウ 詩を創作したり随筆を書いたりするなど、感じたことや考えたことを書く活動。	ア 多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く活動。 イ 社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く活動。 ウ 短歌や俳句、物語を創作するなど、感じたことや想像したことを書く活動。	ア 関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く活動。 イ 情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動。

付録6

書くこと

	(高) 現代の国語	(高) 言語文化	(高) 論理国語
	(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
題材の設定	ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。	ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。	ア 実社会や学術的な学習の基礎に関する事項について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めること。 イ 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。
情報の収集			
内容の検討			
構成の検討	イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方などを考え、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。	イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、指字、語句などの表現の仕方を工夫すること。	ウ 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。
考えの形成			エ 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすること。 オ 個々の文の表現の仕方や段落の構成を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫すること。
記述			
推敲	エ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。		カ 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。
共有			
言語活動例	(2) (1)に示す事項については、例えば、 ア 論理的な文章や実用的な文章を読み、本文や資料を引用しながら、自分の意見や考えを論述する活動。 イ 読み手が必要とする情報に応じて手順書や紹介文などを書いたり、書式を踏まえて案内文や通知文などを書いたりする活動。 ウ 調べたことを整理して、報告書や説明資料などにとまとめる活動。	ア 本取りや折句などを用いて、感じたことや発見したことを短歌や俳句で表したり、伝説行事や風物詩などの文化に関する題材を選んで、随筆などを書いたりする活動。 イ 設定した題材について、分析した内容を報告文などにとまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにとまとめたりする活動。 ウ 社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を参考にして、自分の考えを短い論文にとまとめ、批評し合う活動。 エ 設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。	ア 特定の資料について、様々な観点から概要などをまとめる活動。 イ 設定した題材について、分析した内容を報告文などにとまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにとまとめたりする活動。 ウ 社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を参考にして、自分の考えを短い論文にとまとめ、批評し合う活動。 エ 設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。

	(高) 文学国語	(高) 国語表現	(高) 古典探究
	(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
題材の設定	ア 文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にすること。	ア 目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にすること。	
情報の収集			
内容の検討			
構成の検討	イ 読み手の関心を得られるよう、文章の構成や展開を工夫すること。	イ 読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 読み手の共感を得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫すること。	
考えの形成	ウ 文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫すること。	エ 自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫すること。 オ 自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫すること。	
記述			
推敲	エ 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてほしいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。	カ 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。	
共有			
言語活動例	ア 自由に読んだり評論を参考したりして、小説や詩歌などを創作し、批評し合う活動。 イ 登場人物の心情や情景の描写を、文体や表現の技法等に注意して書き換え、その際に工夫したことなどを話し合ったり、文章にとまとめたりする活動。 ウ 古典を題材として小説を書くなど、翻案作品を創作する活動。 エ グループで同じ題材を書き進んで一つの作品をつくるなど、共同で作品制作に取り組む活動。	ア 社会的な話題や自己の将来などを題材に、自分の思いや考えについて、文章の種類を選んで書く活動。 イ 文章と図表や画像などを関係付けながら、企画書や報告書などを作成する活動。 ウ 説明書や報告書の内容を、目的や読み手に応じて再構成し、広報資料などの別の形式に書き換える活動。 エ 紹介、連絡、依頼などの実務的な手紙や電子メールを書く活動。 オ 設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理したり話し合ったりして、自分や集団の意見を提案書などにとまとめる活動。 カ 異なる世代の人や初対面の人にインタビューをするなどして聞いたことを、報告書などにとまとめる活動。	